

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 人体の構造と機能	15 解剖生理学 I	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 解剖生理学をなぜ学ぶのか、何を学ぶのかを説明できる 2. 解剖生理学の基礎知識として、身体のとらえ方を説明できる 3. 人体の骨組み、身体を動かす骨・筋・関節の構造と機能を説明できる。 4. 体液（血液・リンパ液）を循環・調節して生命の維持を行っている循環器系の構造と機能が説明できる。			
回数		教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	身体のとらえ方	1. 人体の階層性、4 種類の組織、解剖学的肢位、からだの名称と区分	講義 90 分	
2 回	血液 1	2. 血液成分（細胞成分：血球と血漿成分：血漿）と働き、造血細胞	講義 90 分	
3 回	血液 2	3. 止血と血液凝固・線溶系、血液型	講義 90 分	
4 回	骨格系 1	4. 骨と軟骨の構造と機能	講義 90 分	
5 回	骨格系 2	5. 骨格（軸骨格と付属肢骨格）、頭蓋骨、胸郭、骨盤、脊柱	講義 90 分	
6 回	骨格系 3	6. 四肢の骨、骨と骨とを結ぶ関節（運動を含む）	講義 90 分	
7 回	筋系 1	7. 骨格筋の構造、筋収縮のしくみ	講義 90 分	
8 回	筋系 2	8. 頭部・頸部の筋、背部、胸部・腹部の筋	講義 90 分	
9 回	筋系 3	9. 殿部の筋・骨盤底筋、四肢の筋	講義 90 分	
10 回	循環器系 1	10. 心臓の構造と機能	講義 90 分	
11 回	循環器系 2	11. 刺激伝導系・心電図、心機能の調節	講義 90 分	
12 回	循環器系 3	12. 肺循環と体循環、心臓の 4 つの部屋と弁の復習	講義 90 分	
13 回				
14 回	循環器系 4	13. 動脈・毛細血管・静脈、冠循環、脳循環	講義 90 分	
15 回	循環器系 5 試験	14. 胎児循環、血圧・循環の調節、リンパ管の構造と機能	講義 90 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【1】 解剖生理学 医学書院 堺章著 新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院			
備考				

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 人体の構造と機能	16 解剖生理学Ⅱ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 「食べる」・「栄養素を身体にとりこむ」・「老廃物を排泄する」消化器系の構造と機能を説明できる。 2. 尿生成しながら、老廃物を体外に排泄している腎・泌尿器系の構造と機能が説明できる。 3. 清浄な空気を肺に送り肺胞でガス交換を行いながら生命を維持する呼吸器系の構造としくみが説明できる。 4. 臓器の位置関係を説明できる。人工臓器がもっとも重要な機能を代替えていることに着目して、臓器の機能を考える。			
回数		教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	消化器系 1	1. 口から食道までの構造と機能	講義 90 分	
2 回	消化器系 2	2. 口から食道への咀嚼と嚥下	講義 90 分	
3 回	消化器系 3	3. 漿膜と粘膜、胃の構造と機能	講義 90 分	
4 回	消化器系 4	4. 肝臓と胆嚢・胆道の構造と機能	講義 90 分	
5 回	消化器系 5	5. 膵臓の構造と機能、小腸の構造と機能	講義 90 分	
6 回	消化器系 6	6. 大腸の構造と機能、消化管運動	講義 90 分	
7 回	腎・泌尿器系 1	7. 腎臓の構造と機能	講義 90 分	
8 回		8. 尿生成のしくみ	講義 90 分	
9 回	腎・泌尿器系 2	9. 排尿路（尿管・膀胱、尿道）の構造と機能	講義 90 分	
10 回	腎・泌尿器系 3	10. 体液の調節（酸塩基平衡・浸透圧の調節）	講義 90 分	
11 回	呼吸器系 1	11. 鼻から気管支までの気道の構造と機能	講義 90 分	
12 回	呼吸器系 2	12. 胸膜・縦隔、肺の構造と機能	講義 90 分	
13 回	呼吸器系 3	13. 呼吸と酸塩基平衡	講義 90 分	
14 回	臓器の位置関係	14. 臓器の位置関係・人工臓器（主要な臓器の機能）	講義 90 分	
15 回			試験 45 分	
評価方法	筆記試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【1】 解剖生理学 医学書院 堺章著 新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 人体の構造と機能	17 解剖生理学Ⅲ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 神経的情報の素早いやりとりで全身を調節する神経系の基本単位であるニューロン（神経細胞）を描いて、特徴を説明できる。 2. 神経系を解剖学的、機能的に中枢神経と末梢神経とに分類しそれぞれの構造と機能について説明できる。 3. 人体内外の情報（刺激）を受け取る感覚器系の構造と機能を説明できる 4. 生体防御を行っている免疫系の構造と機能について、さまざまな分類から、全体像まで、説明できる。			
回数		教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	神経系 1	1. 情報伝達のしくみ	講義 90 分	
2 回	神経系 2	2. 中枢神経（脳の構造と機能） ①大脳の機能と構造	講義 90 分	
3 回	神経系 3	②間脳、脳幹と小脳の構造と機能	講義 90 分	
4 回	神経系 4	③脊髄の構造と機能、脊髄反射	講義 90 分	
5 回	神経系 5	④髄膜・脳室・脳脊髄液	講義 90 分	
6 回	神経系 6	3. 末梢神経 ①脳神経（12 対）	講義 90 分	
7 回	神経系 7	②脊髄神経（31 対）③体性神経系（運動・感覚神経）	講義 90 分	
8 回	神経系 8	④自律神経系	講義 90 分	
9 回	神経系 9	4. 伝導路、覚醒と睡眠、記憶、大脳辺縁系	講義 90 分	
10 回	感覚器系 1	5. 感覚器概要	講義 90 分	
11 回	感覚器系 2	視覚	講義 90 分	
12 回	感覚器系 3	平衡感覚 味覚 嗅覚 内臓感覚	講義 90 分	
13 回	感覚器系 4	皮膚の構造と機能	講義 90 分	
14 回	免疫系	6. 免疫のしくみ	講義 90 分	
15 回			試験 45 分	
評価方法	筆記試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【1】 解剖生理学 医学書院 堺章著 新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院			
備考				

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 人体の構造と機能	18 解剖生理学Ⅳ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 神経系と異なり化学的情報伝達物質（ホルモン）で身体の調節を行う内分泌系の構造と機能を説明できる 2. 細胞（体細胞と生殖細胞）、細胞分裂、遺伝子、染色体が説明できる。 3. 女性生殖器を外生殖器と内生殖器に分け構造と機能を性周期に合わせて説明できる。 4. 男性生殖器を精巣、精路、付属生殖腺に分けて構造と機能、受精・着床について説明できる。			
回数		教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	内分泌系 1	内分泌腺とホルモン、外分泌腺との違い、ホルモン受容体 ホルモン作用のしくみ、フィードバック機構	講義 90 分	
2 回	内分泌系 2	内分泌作用としての視床下部と下垂体の構造と機能	講義 90 分	
3 回	内分泌系 3	甲状腺、副甲状腺、膵臓の膵島の構造と機能	講義 90 分	
4 回	内分泌系 4	副腎皮質、副腎髄質の構造と機能	講義 90 分	
5 回	内分泌系 5	松果体のホルモン、	講義 90 分	
6 回	内分泌系 6	消化管のホルモン	講義 90 分	
7 回	内分泌系 7	腎臓のホルモン、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系	講義 90 分	
8 回	細胞からゲノムまで	細胞の構造、細胞分裂、ゲノム	講義 90 分	
9 回		蛋白合成、男性と女性のできかた	講義 90 分	
10 回	女性生殖器 1	女性の内生殖器と外生殖器 卵巣の構造と機能（卵子の形成）、卵管・子宮・膣の構造と機能	講義 90 分	
11 回	女性生殖器 2	性周期（卵巣周期、月経周期）と性腺ホルモン、乳房	講義 90 分	
12 回	男性生殖器 1	精子を産生する精巣、精路、付属生殖腺の構造と機能、男性ホルモン	講義 90 分	
13 回	男性生殖器 2	前立腺（付属生殖腺）全摘ロボット支援手術とチーム医療	講義 90 分	
14 回		解剖生理学Ⅰ～Ⅳまとめ	講義 90 分	
15 回			試験 45 分	
評価方法	筆記試験			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【1】 解剖生理学 医学書院 堺章著 新訂 目でみるからだのメカニズム 医学書院			
備考				

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 人体の構造と機能	19 生化学	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 人体の恒常性を理解する。 2. 現代人が摂取している化学物質と細胞再生の関連について考えることができる。 3. 有害物質の浸入によって起こる生体内の防御機能を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 生化学を学ぶための基礎知識	講義 90 分	
2 回	2. 基礎知識（続き）、細胞の構造と機能	講義 90 分	
3 回	3. 糖質	講義 90 分	
4 回	4. 糖質、脂質	講義 90 分	
5 回	5. 脂質	講義 90 分	
6 回	6. 脂質、タンパク質	講義 90 分	
7 回	7. タンパク質、核酸	講義 90 分	
8 回	テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能【2】 生化学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	20 病理学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：医師

学習目標	1. 先天異常について理解する。 2. 代謝異常について理解する。 3. 循環障害について理解する。 4. 炎症による細胞の変化を理解する。 5. 腫瘍について理解する。 6. 症状のメカニズムを理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 病気と病理学 1) 疾病の原因 2) 生体の回復力	講義 90 分	
2 回	2. 老化現象と病気の関係 3. 先天異常 1) 先天異常とは 2) 先天異常の原因	講義 90 分	
3 回	3) 先天異常疾患	講義 90 分	
4 回	4. 代謝異常 1) 代謝障害とは	講義 90 分	
5 回	2) 細胞の障害と適応 3) 細胞障害の結果としての細胞沈着	講義 90 分	
6 回	5. 循環障害 1) 循環障害とは	講義 90 分	
7 回	2) 循環血液量の異常 3) 閉鎖性循環障害	講義 90 分	
8 回	6. 炎症 1) 炎症とは 2) 炎症の原因、経過	講義 90 分	
9 回	3) 炎症の各型	講義 90 分	
10 回	7. 腫瘍 1) 腫瘍の定義と分類	講義 90 分	
11 回	2) 悪性腫瘍の定義と進行度 3) 腫瘍の発生病理	講義 90 分	
12 回	8. 症状のメカニズム	講義 90 分 講義 90 分 講義 90 分 講義 45 分 試験 45 分	
13 回	1) 痛み 2) 発熱 3) 浮腫 4) 脱水		
14 回	5) ショック		
15 回	講義のまとめ・テスト		
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進【1】 病理学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	21 微生物学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 感染症の成り立ちについて理解する。 2. 発症を予防する方法を理解する。 3. 病原微生物と人間との相互作用について理解する。 4. ウィルスと人間との相互作用について理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 微生物と微生物学	講義 90 分	
2 回	2. 細菌の性質：形態と特徴、培養と栄養、遺伝、分類、常在細菌叢	講義 90 分	
3 回	3. 真菌・原虫・ウィルスの性質：形態と特徴、増殖、分類、他	講義 90 分	
4 回	4. 感染と感染症：感染の機構、感染の成立から発症・治癒まで	講義 90 分	
5 回	5. 感染に対する生体防御機構①：自然免疫、獲得免疫	講義 90 分	
6 回	6. 感染に対する生体防御機構②：感染源・感染経路からみた感染症	講義 90 分	
7 回	7. 滅菌と消毒、感染症の検査と診断	講義 90 分	
8 回	8. 感染症の治療、化学療法、感染症の現状と対策	講義 90 分	
9 回	9. 細菌感染症①：グラム陰性・陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌	講義 90 分	
10 回	10. 細菌感染症②：グラム陰性通性桿菌、らせん菌、グラム陽性桿菌	講義 90 分	
11 回	11. 細菌感染症③：抗酸菌、嫌気性菌、リケッチア、クラミジア	講義 90 分	
12 回	12. 病原真菌と真菌感染症、病原原虫と原虫感染症	講義 90 分	
13 回	13. おもなウィルス感染症①：DNA ウィルス	講義 90 分	
14 回	14. おもなウィルス感染症②：RNA ウィルス	講義 90 分	
15 回	ウィルスの臨床的分類、プリオンとプリオン病・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進【4】 微生物学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	22 薬理学	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者: 薬剤師

学習目標	1. 薬物の種類と特徴、作用機序について理解する。 2. 薬物に関する生体の反応について理解する。 3. 薬物の有効性や安全性について理解し、安全に薬剤を提供する必要性を認識する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 薬理学とは 1) 薬理学のなりたち 2) 薬による病気の治療	講義 90 分	第 1 部 テキスト第 1 章 テキスト付録
2 回	2. 看護業務に必要な薬の知識 1) 薬に関する単位 2) 処方箋 6) 医薬品添付文書 3. 薬理学の基礎知識 1) 薬が作用するしくみ 2) 薬の体内の挙動 3) 薬物相互作用 4) 薬物の個人差に影響する因子 5) 薬物使用の有益性と危険性 6) 薬と法律	講義 90 分	
3 回	4. 抗感染症薬 1) 感染症治療に関する基礎事項 2) 抗感染症薬各論 3) 特殊な感染症の治療薬 4) 感染症治療の問題点	講義 90 分	第 2 部 テキスト第 3 章
4 回	5. 抗がん薬 1) がん治療に関する基礎事項 2) 抗がん薬各論	講義 90 分	
5 回	6. 免疫治療薬 1) 免疫系の基礎知識 2) 免疫抑制薬 3) 免疫増強薬・予防接種薬	講義 90 分	テキスト第 5 章
6 回	7. 抗アレルギー薬・抗炎症薬 1) 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2) 炎症と抗炎症薬 3) 関節リウマチ治療薬 4) 痛風・高尿酸血症治療薬	講義 90 分	テキスト第 6 章
7 回	8. 末梢神経に作用する薬物 1) 神経系による情報伝達 2) 自律神経系作用薬 3) 交感神経作用薬 4) 副交感神経作用薬 5) 筋弛緩薬・局所麻酔薬	講義 90 分	テキスト第 7 章
8 回	9. 中枢神経系に作用する薬 1) 中枢神経系のはたらきと薬物 2) 全身麻酔薬 3) 催眠薬・抗不安薬 4) 抗精神病薬 5) 抗うつ薬・気分安定薬 6) パーキンソン症候群治療薬 7) 抗てんかん薬 8) 麻薬性鎮痛薬	講義 90 分	テキスト第 8 章
9 回	10. 循環器系に作用する薬 1) 降圧薬 2) 狭心症治療薬 3) 心不全治療薬 4) 抗不整脈薬 5) 利尿薬 6) 脂質異常症治療薬 7) 血液に作用する薬物	講義 90 分	テキスト第 9 章

10 回	11. 呼吸器、消化器・生殖器系に作用する薬物 1) 気管支喘息治療薬 2) 鎮咳薬・去痰薬・呼吸促進薬 3) 消化性潰瘍治療薬 4) 健胃・消化薬と消化管運動促進薬 5) 女性生殖器に作用する薬物 6) 男性生殖器に作用する薬物 7) 泌尿器に作用する薬物	講義 90 分	テキスト第 10 章
11 回	12. 物質代謝に作用する薬物 1) ホルモンとホルモン拮抗薬 2) 治療薬としてのビタミン	講義 90 分	テキスト第 11 章
12 回	13. 皮膚科用薬・眼科用薬 1) 皮膚に使用する薬物 2) 眼科用薬 14. 救急の際に使用される薬剤 1) 救急に用いられる薬物 2) 急性中毒に対する薬物	講義 90 分	テキスト第 12 章 テキスト第 13 章
13 回	15. 漢方薬 1) 漢方医学の基礎知識 2) 漢方薬各論 16. 消毒薬	講義 90 分	テキスト第 14 章 テキスト第 15 章
14 回	17. 輸液製剤・輸血剤 1) 輸液製剤 2) 輸血剤	講義 90 分	テキスト付章
15 回	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進【3】 薬理学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	23 病態治療論 I	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 臨床検査の全般について理解する。 2. 外科的診断、治療の基礎的知識を理解する。 3. 放射線診断、治療の基礎的知識を理解する。 4. 放射線治療における看護の役割を理解する。 5. 化学療法の基礎的知識を理解する。 6. 化学療法における看護の役割を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 臨床検査 1) 臨床検査とは 2) 検体検査 3) 生理機能検査 4) 微生物検査 5) 病理検査	講義 90 分	微生物検査、病理検査については微生物学、病理学で詳しく学ぶ
2 回	2. 手術療法 1) 手術療法の目的と意義 2) 外科診断法	講義 90 分	
3 回	3) 外科手術手技・処置の基本	講義 90 分	
4 回	4) 麻酔とは	講義 90 分	
5 回	5) 術前・術中・術後の管理	講義 90 分	
6 回	6) 外科的侵襲と生体反応	講義 90 分	
7 回	3. 放射線診断と治療 1) 放射線と放射能の基礎 2) 放射線の影響	講義 90 分	
8 回	3) 放射線事故の防護	講義 90 分	
9 回	4) 放射線治療の基礎 5) 放射線診断の基礎	講義 90 分	
10 回	6) 核医学診断	講義 90 分	
11 回	7) 放射線治療における看護師の役割	講義 90 分	
12 回	4. 化学療法 1) 化学療法の基礎知識	講義 90 分	
13 回	2) 安全な取扱いと副作用について	講義 90 分	
14 回	3) 癌化学療法のチーム医療における看護師の役割	講義 90 分	
15 回	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	24 病態治療論Ⅱ	1 単位	30 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 薬物療法の基礎的知識を理解する。 2. 運動療法の基礎的知識を理解する。 3. リハビリテーション療法の基礎的知識を理解する。 4. 救急法について理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 薬物療法とは 1) 薬物動態と薬力学	講義 90 分	(シミュレーションセン ター)
2 回	2) 剤形と体内動態	講義 90 分	
3 回	3) 投与経路と服用時間	講義 90 分	
4 回	2. 薬物療法の実際	講義 90 分	
5 回	3. 運動療法 1) 運動療法とは	講義 90 分	
6 回	2) 運動療法の目的	講義 90 分	
7 回	3) 運動療法の対象となる疾患	講義 90 分	
8 回	4) 運動療法の原則	講義 90 分	
9 回	5) 運動療法の効果と副作用	講義 90 分	
10 回	6) 運動療法の種類と特徴	講義 90 分	
11 回	4. リハビリテーション療法とは	講義 90 分	
12 回	1) リハビリテーション医学とは	講義 90 分	
13 回	2) リハビリテーション療法の目的	講義 90 分	
14 回	3) リハビリテーション療法の種類と特徴	講義 90 分	
15 回	(1) 理学療法	演習 90 分	
	(2) 作業療法	講義 90 分	
	(3) 言語療法	演習 90 分	
		講義 90 分	
	5. 救急法	講義 90 分	
	1) 救急蘇生の基本と A E D	演習 90 分	
	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	25 病態生理学 I	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 運動器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 2. 脳神経系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。			
回数	教育内容		時 間	方法と留意点
1 回	1. 運動器の構造と機能障害 1) 骨 2) 関節 3) 筋肉、末梢神経、脊髄		講義 90 分	
2 回	2. 疾患の診断と治療 1) 変形性関節症 2) 脊椎・脊髄疾患		講義 90 分	
3 回	3) 末梢神経の損傷と障害 4) 骨粗鬆症		講義 90 分	
4 回	5) 骨折 6) スポーツ障害		講義 90 分	
5 回	7) 骨・軟部の腫瘍 8) 腱、骨折、神経断裂に伴う治療処置・留意点		講義 90 分	
6 回	3. 脳神経系の構造と機能障害 1) 末梢神経系		講義 90 分	
7 回	2) 中枢神経系 3) 髄膜 4) 血管		講義 90 分	
8 回	4. 疾患の診断と内科的、外科的治療		講義 90 分	
9 回	1) 脳血管障害 2) 神経系の腫瘍		講義 90 分	
10 回	3) 神経系の感染症 4) 機能性疾患		講義 90 分	
11 回	5) 神経変性疾患		講義 90 分	
12 回	6) 脱髄性疾患 7) 脊髄・脊椎疾患		講義 90 分	
13 回	8) 末梢神経疾患		講義 90 分	
14 回	9) 筋疾患 10) 頭部外傷		講義 90 分	
15 回	講義のまとめ・テスト		講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験			
教科書	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【10】 運動器	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【7】 脳神経	医学書院
備考				

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	26 病態生理学Ⅱ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：医師

学習目標	1. 呼吸器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 2. 循環器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 呼吸器の構造と機能障害 A. 呼吸器の構造 B. 呼吸器の機能	講義 90 分	
2 回	2. 症状とその病態生理 A. 喀痰 血痰 咯血 B. 咳嗽 C. 胸痛 D. 呼吸困難 E. 他覚症状：チアノーゼ ばち指 発熱 呼吸の異常 声の異常 意識障害	講義 90 分	
3 回	3. 検査と治療・処置 A. 診察と診断の流れ 問診 身体所見（視診 触診 打診 聴診） B. 検査 血液検査 喀痰検査 胸水検査 画像診断	講義 90 分	
4 回	内視鏡検査 生検 呼吸機能検査 アプノモニター C. 治療・処置 吸入療法 酸素療法 人工呼吸 呼吸理学 気道確保 胸腔ドレナージ 呼吸器外科の手術	講義 90 分	
5 回	4. 疾患の理解 A. 感染症（かぜ 急性気管支炎 インフルエンザ 肺炎 肺炎各論 結核 非結核性抗酸菌症） B. 間質性肺疾患（HPP サルコイドーシス 好酸球性肺疾患 過敏性肺炎 じん肺 膠原病に伴う肺疾患 薬剤性肺疾患 放射線肺炎）	講義 90 分	
6 回	C. 気道疾患 （気管支喘息 気管支拡張症 COPD） D. 肺血栓塞栓症	講義 90 分	
7 回	E. 呼吸不全（病態生理 ARDS 肺性心）	講義 90 分	

8 回	F. 呼吸調節に関する疾患（過換気症候群 S A S） G. 肺腫瘍（良性腫瘍 悪性腫瘍） H. 肺・肺血管の形成異常（肺分画症 肺動静脈瘻） I. 胸膜・縦隔膜疾患（胸膜炎 膿胸 自然気胸 胸膜腫瘍 縦隔炎 縦隔腫瘍 横隔膜神経麻痺 横隔膜ヘルニア） J. 肺移植 K. 胸部外傷（肋骨骨折 横隔膜破裂 肺損傷 気管・気管支損傷）	講義 90 分	
9 回	5. 循環器の構造と機能障害	講義 90 分	
10 回	6. 循環器疾患の診断と治療	講義 90 分	
11 回	1) 先天性心疾患	講義 90 分	
12 回	2) 後天性心疾患	講義 90 分	
13 回	3) 血圧異常	講義 90 分	
14 回	4) 不整脈疾患	講義 90 分	
15 回	5) 血管の疾患	講義 90 分	
	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学【2】 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学【3】 循環器 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	27 病態生理学Ⅲ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：医師

学習目標	1. 消化器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 2. 腎・泌尿器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 総論① 消化器の構造と機能	講義 90 分	
2 回	2. 総論② 検査と治療について	講義 90 分	
3 回	3. 食道疾患	講義 90 分	
4 回	4. 胃・十二指腸疾患	講義 90 分	
5 回	5. 小腸、大腸疾患（外科領域）	講義 90 分	
6 回	6. 小腸・大腸疾患（内科領域）	講義 90 分	
7 回	7. 肝臓疾患①	講義 90 分	
8 回	8. 肝臓疾患②	講義 90 分	
9 回	9. 胆道疾患	講義 90 分	
10 回	10. 膵疾患	講義 90 分	
11 回	11. 腎の構造と機能障害 1) 症状と病態生理 2) 検査と治療	講義 90 分	
12 回	12. 腎疾患の理解	講義 90 分	
13 回	13. 泌尿器の構造と機能障害 1) 症状と病態生理 2) 検査と治療	講義 90 分	
14 回	14. 泌尿器疾患の理解	講義 45 分	
15 回	講義のまとめ・テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学【8】 消化器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学【5】 腎・泌尿器 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	28 病態生理学Ⅳ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：医師

学習目標	1. 代謝・内分泌系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 2. 血液・造血器系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 3. アレルギー・膠原病の疾患のメカニズムと治療による回復過程を理解する。				
回数	教育内容			時 間	方法と留意点
1 回	1. 内分泌・総論			講義 90 分	
2 回	2. 内分泌・各論			講義 90 分	
3 回	3. 代謝・総論				
4 回	4. 代謝・各論				
5 回	5. 血液・造血器の構造と機能障害			講義 90 分	
6 回	6. 血液・造血器疾患の診断と治療			講義 90 分	
	1) 赤血球系疾患				
7 回	2) 白血球系疾患			講義 90 分	
8～9 回	3) 出血性疾患			講義 180 分	
10～11 回	7. アレルギー			講義 180 分	
	1) アレルギー疾患				
	2) 自己免疫疾患				
	3) アレルゲン				
	4) アレルギーの治療				
12 回	8. 膠原病			講義 90 分	
	1) 自己免疫疾患とその機序				
	2) 症状と病態				
13～14 回	3) 疾患の理解			講義 180 分	
15 回	講義のまとめ・テスト			講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験				
教科書	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【6】	内分泌・代謝	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【4】	血液・造血	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【11】	アレルギー 膠原病 感染症	医学書院
備考					

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	29 病態生理学Ⅴ	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者:医師

学習目標	1. 感覚器管系の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。 2. 歯科・口腔系疾患の機能障害のメカニズムと治療による回復を理解する。 3. 生殖器疾患の機能障害のメカニズムと治療による回復過程を理解する。				
回数	教育内容			時 間	方法と留意点
1 回	1. 皮膚の構造と機能障害			講義 90 分	
2 回	2. 皮膚疾患の診断と治療			講義 90 分	
3 回	3. 耳鼻咽喉の構造と機能障害			講義 90 分	
4 回	4. 耳鼻咽喉の診断と治療			講義 90 分	
5 回	5. 眼の構造と機能障害			講義 90 分	
	6. 眼の疾患（眼瞼、結膜、角膜、水晶体、眼底）				
6 回	7. 眼の手術			講義 90 分	
7 回	8. 歯科・口腔の構造と機能障害			講義 90 分	
	9. 歯科・口腔疾患の診断と治療				
	10. 口腔ケアについて				
8 回	11. 嚥下障害			講義 90 分	
9 回	12. 生殖器の構造と機能障害			講義 90 分	
10 回	13. 子宮の疾患と診断			講義 90 分	
11 回	14. 卵巣の疾患と診断			講義 90 分	
12 回	15. 性機能障害			講義 90 分	
13 回	16. 不妊症			講義 90 分	
14 回	17. 性感染症			講義 90 分	
15 回	講義のまとめ・テスト			講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験				
教科書	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【12】	皮膚	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【14】	耳鼻咽喉	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【13】	眼	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【15】	歯・口腔	医学書院
	系統看護学講座	専門分野Ⅱ	成人看護学【9】	女性生殖器	医学書院
備考					

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	30 栄養学	1 単位	30 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 健康と食生活の関係を理解し、健康な生活に必要な各栄養素と栄養的意義を理解する。 2. 疾病予防・回復の促進のための栄養と食事について理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 代謝、酵素	講義 90 分	
2 回	2. 解糖系、クエン酸回路	講義 90 分	
3 回	3. 糖質代謝、脂質代謝	講義 90 分	
4 回	4. 脂質代謝、タンパク質	講義 90 分	
5 回	5. タンパク質代謝、核酸代謝、代謝の異常	講義 90 分	
6 回	6. 食品のもつエネルギー	講義 90 分	
	1) エネルギー消費量の計算	講義 90 分	
7 回	7. 日本人の食事摂取基準	講義 90 分	
	1) 食事バランスガイド（現代食生活の特徴）		
8 回	8. 食品分数方法	講義 90 分	
	1) 食品成分表の使い方、現代食生活の特徴		
9 回	9. 栄養スクリーニング、栄養アセスメント	講義 90 分	
10 回	10. ライフステージ別栄養（乳児～学童）	講義 90 分	
11 回	11. ライフステージ別栄養（思春期～高齢者）	講義 90 分	
12 回	12. ライフステージ別栄養のまとめ（DVD）	講義 90 分	
	1) 経口摂取できない人、患者のための栄養管理 シラバス 7)		
13 回	13. チーム医療と栄養食事療法	講義 90 分	
	1) 療養生活と栄養 シラバス 1) ～ 3)	講義 90 分	
14 回	14. 療養生活と栄養 シラバス 4) ～ 6)	講義 90 分	
15 回	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	新体系 看護学全書 人体の構造と機能② 栄養生化学 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 糖尿病治療のための食品交換表 日本糖尿病協会 文光堂 食品成分表 女子栄養大学		
備考			

分野	科目	単位		
----	----	----	--	--

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	31 社会福祉論	1 単位	30 時間	3 年
-----------------------	----------	------	-------	-----

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 社会福祉の理念を理解する。 2. 福祉に関する諸制度、施策、保障がどのように存在するか、時代とともに変化している視点から理解する。 3. 地域における保健・医療・福祉の連携を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 社会福祉のイメージ	講義 90 分	
2 回	2. 社福基本的理念 ノーマライゼーション	講義 90 分	
3 回	3. 社福基本的理念 生活の質の向上	講義 90 分	
4 回	4. 社会福祉の援助と福祉ニーズ①	講義 90 分	
5 回	5. 社会福祉の援助と福祉ニーズ②	講義 90 分	
6 回	6. 社会福祉サービスの内容と提供方法	講義 90 分	
7 回	7. 社会福祉法 1) 生活保護法	講義 90 分	
8 回	8. 生活保護法②	講義 90 分	
9 回	9. 生活保護法③	講義 90 分	
10 回	10. 生活保護法④	講義 90 分	
11 回	11. 生活保護法⑤ 1) 障害法	講義 90 分	
12 回	12. 障害法、支援法、児童、高齢者	講義 90 分	
13 回	13. 高齢者、医療保障	講義 90 分	
14 回	14. 介護保険、年金制度	講義 90 分	
15 回	講義のまとめ・テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 【3】 社会保障・社会福祉 医療書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	32 行動科学	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 健康や疾病をめぐる行動変容支援の理論を理解する。 2. 体験学習をとおして行動変容支援の実際について理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 行動科学の基礎	講義 90 分	
2 回	2. 行動変容支援の理論	講義 90 分	
3 回	3. 行動変容支援の実際 1) 行動の目標化への支援	講義 90 分 講義 90 分	
4 回	4. 行動の目標化への支援	講義 90 分	
5 回	5. ストレスとストレス・コーピング	講義 90 分	
6 回	6. アサーションスキル	講義 90 分	
7 回	7. 自己理解、医療従事者と行動科学、まとめ	講義 90 分	
8 回	テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験 授業への参加		
教科書	健康づくりのための理論と応用 改訂第 2 版 南江堂		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	33 関係法規	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. わが国の保健医療福祉に関する諸制度の概要を理解する。 2. 医療機関と医療従事者の職務、機能、役割を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1～2 回	1. 薬務法 1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法 2) 毒物及び劇物取締法 3) 麻薬・大麻・あへん・覚せい剤取締法 4) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	講義 180 分	(谷口)
3 回	2. 法体系、医療法と各法律	講義 90 分	(新保)
4 回	3. 母子保健法、母体保護法	講義 90 分	
5 回	4. 医療法、保助看法	講義 90 分	
6 回	5. 関係法規 1) 保助看法	講義 90 分	
7 回	6. 授業のまとめ、想定問題、事例問題演習	試験 45 分	
8 回	テスト		
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度【4】 看護関係法令 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	34 公衆衛生学	1 単位	30 時間	3 年

科目担当者:非常勤講師

学習目標	公衆衛生の基本理念を理解し、その概要・歴史について学ぶ。さらに現在の公衆衛生や社会保障のシステムや集団を見る疫学の概要も学ぶ。また対象別、場面別の公衆衛生活動の実際を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 公衆衛生の理念 1) 公衆衛生の歴史 2) 健康の概念	講義 90 分	
2 回	2. 地域保健医療システム 1) 保健医療行政 2) 医療供給体制 3) 医療資源	講義 90 分	
3 回	3. 日本の社会保険制度および医療制度 1) 社会保障制度の体系と機能 2) 医療保険制度・介護保険制度	講義 90 分	
4 回	4. 公衆衛生活動における疫学（1） 1) 集団の見方と健康指標	講義 90 分	
5 回	5. 公衆衛生活動における疫学（2） 1) 統計・資料の活用方法	講義 90 分	
6 回	6. 公衆衛生活動各論 1 母子・思春期保健 1) 子どもに関する施策 2) 地域母子保健対策 3) 育児支援 4) 児童虐待 5) 思春期保健	講義 90 分	
7 回	7. 公衆衛生活動各論 2 成人・高齢者保健 1) 成人の健康問題の現状と課題 2) 成人保健対策	講義 90 分	
8 回	8. 公衆衛生活動各論 3 精神保健・難病保健 1) 精神保健福祉の目的 2) 精神保健福祉システムと制度 3) 難病対策 4) 主な対象の特徴と地域での主な活動	講義 90 分	
9 回	9. 公衆衛生活動各論 4 感染症対策 1) 主要感染症の現状 2) 感染症予防 3) 新たな感染症対策	講義 90 分	
10 回	10. 公衆衛生活動各論 5 学校保健 1) 学校保健の概要 2) 養護教諭の役割	講義 90 分	

11 回	11. 公衆衛生活動各論 6 産業保健 1) 労働衛生関係法令の概要 2) 職業性疾患の概要 3) 産業看護職の活動	講義 90 分	
12 回	12. 公衆衛生活動各論 7 環境保健 1) 環境保健の概要 2) 食品保健 3) 大気環境 4) 廃棄物 5) 地球環境の問題 6) 水道 7) 居住環境	講義 90 分	
13 回	13. 公衆衛生活動各論 8 これからの公衆衛生 1) 国際保健 2) 健康危機管理 3) 災害時における公衆衛生活動	講義 90 分	
14 回	14. 公衆衛生活動各論 9 ヘルスプロモーション 1) 健康教育とヘルスプロモーションの定義 2) ヘルスプロモーションのすすめ方 3) 具体例	講義 90 分	
15 回	講義のまとめ テスト	講義 45 分 試験 45 分	
評価方法	筆記試験		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度【2】 公衆衛生 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	35 総合医療論	1 単位	15 時間	2 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 医療に対する社会の期待を理解する 2. 医療を発展させる基盤になる倫理、経済を理解する 3. 健康増進のために生活習慣に働きかける必要性を理解する		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 医療と看護の原点 1) いのちと健康 ①生命現象と死 ②健康とは 2) 病の体験 3) 癒しの行為と癒しの知 4) 医療的ケアの管理 2. 医療のあゆみと医療観の変遷 1) 現代医学の起源 2) 20 世紀の医療 3) わが国の医療がたどってきた道 4) 医療観のうつりかわり	講義 90 分	
2 回	3. 私たちの生活と医療 1) もしも私たちが病気やけがをしたら 2) 私たちの生活と環境衛生、保健、福祉行政 3) 疾病の一次予防と生活習慣病の考え方 4) 高齢化社会と世代間のきずな 5) 障害者のノーマライゼーションと新たな社会のきずな 6) こころの健康と精神医療	講義 90 分	
3 回	4. 技術社会の高度化と健康・生命をめぐる新たな課題 1) 先進医療技術の成果と私たちの新たな課題 2) 産業社会の発展と人間の健康 5. 成熟する社会と人々の意識改革 1) 医療不信から賢い患者へ 2) インフォームドコンセントと医療情報開示	講義 90 分	
4 回	6. 医療を見つめなおす新しい視点 1) 「医」における論理と倫理そして管理 2) 医療人類学と受療行動の研究 3) 医療と倫理 4) 臨床疫学 5) 医療の管理と医療の評価	講義 90 分	
5 回	7. 健康の概念の質的变化と保健・医療の新しい潮流	講義 90 分	
6～7 回	8. へき地医療	講義 135 分	
8 回	テスト	試験 45 分	
評価方法	レポート評価		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度【1】 総合医療論 医学書院		
備考			

分野	科目	単位	時間	履修年次
専門基礎分野 健康支援と社会保障制度	36 家族支援論	1 単位	15 時間	1 年

科目担当者：非常勤講師

学習目標	1. 看護の対象としての家族を1つの単位としてとらえ、特性を理解する。 2. 健康な家族の在り方を理解する。 3. 家族が自らの健康問題を主体的に解決していくために必要な理論と社会資源の活用を理解する。		
回数	教育内容	時 間	方法と留意点
1 回	1. 授業オリエンテーション	講義 90 分	事例演習を取り入れ、 家族の健康支援につ いて理解する
2 回	2. 家族とは（定義等）	講義 90 分	
3 回	3. 日本の家族の動向 1) 家族支援の意義、諸理論	講義 90 分	
4 回	4. 家族の役割と権威構造 1) 自己覚知、家族支援について VTR 視聴	講義 90 分	
5 回	5. 家族に関する諸理論を理解しよう 1) 家族の機能 2) 家族の役割と権威構造 3) システムとしての家族 4) 家族のライフサイクル 5) 家族のコミュニケーション 6) 家族と危機 6. 家族の生活、家族の健康とは何だろう 1) 集団としての家族 2) 個人と家族の生活 3) 家族の健康 7. 共感のスキル演習	講義 90 分	
6 回	8. 家族に関する情報収集とアセスメントの方法 1) ジェノグラム、エコマップの活用 2) 情報収集とアセスメント 9. 家族の援助計画 1) 家族の援助計画の特徴 2) 家族の援助の実際 3) 看護の評価・修正 10. チームアプローチ演習	講義 90 分	
7 回	11. 家族が高齢者を介護している 1) 介護必要な高齢者 2) 家族にとっての問題	講義 90 分	
8 回	テスト	試験 45 分	
評価方法	筆記試験 レポート		
教科書	家族看護学 中央法規出版会		
備考			